

ネットワークカメラ

設置説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

お客様へ
本製品の取り付けには、確実な作業が必要になります。
必ず、販売店や工事店に依頼して、安全性を充分考慮して確実な取り付けを行ってください。

警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この設置説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いを示してあります。この設置説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

IPELA

HD

SNC-DH110/DH110T

SNC-DH210/DH210T

© 2010 Sony Corporation Printed in China

お問い合わせは
「ソニー業務用商品相談窓口のご案内」にある窓口へ

ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

<http://www.sony.co.jp/>

安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品は、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故につながることがあります。危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

• 安全のための注意事項を守る。

• 故障したり破損したら使わずに、ソニーの相談窓口に相談する。

警告表示の意味

この設置説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

警告

この表示の注意事項を守らないと、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故につながることがあります。

注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の物品に損害を与えることがあります。



警告 下記の注意を守らないと、火災や感電、落下により死亡や大けがにつながることがあります。

火災 感電

設置や配線工事のときに屋内配線や屋内配管を傷つけないよう気をつける

特に壁に穴を開けたり、やケーブルを固定したりするときは充分に気をつけてください。屋内配線や屋内配管の傷は、火災や感電、漏電の原因となります。

指定された接続ケーブルを使う

設置説明書に記されている接続ケーブルを使わないと、火災や故障の原因となることがあります。

水にぬれる場所で使用しない

水ぬれすると、漏電による感電、発火の原因となることがあります。

水ぬれ禁止

設置は専門の工事業者に依頼する

設置については、必ずお買い上げ店またはソニー業務用商品相談窓口にご相談ください。

製品の設置は充分な強度のある場所に取り付ける

壁や天井など高所への設置は、本機の重量に充分耐えられる強度があることをお確かめの上、確実に取り付けてください。強度の不充分な場所に設置すると、落下、転倒などにより、けがの原因となります。

また、1年で一度は、取り付けがゆるんでいないことを点検してください。また、使用状況に応じて、点検の間隔を短くしてください。

機器や部品の取り付けは正しく行う

機器や部品の取り付け方や、本機の分離・合体の方法を誤ると、本機や部品が落として、けがの原因となることがあります。

設置説明書に記載されている方法に従って、確実に行ってください。

雨のある場所や、油煙、湯気、湿気、ほこりの多い場所には設置しない

上記のような場所やこの設置説明書に記されている使用条件以外の環境に設置すると、火災や感電の原因となることがあります。

不安定な場所に設置しない

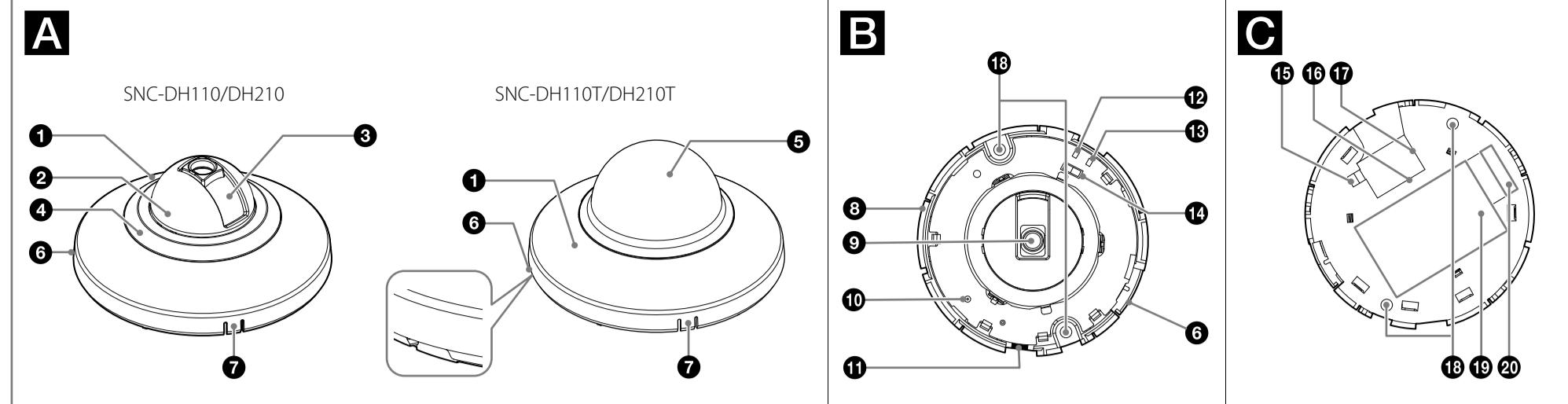
次のような場所に設置すると倒れたり落ちたりして、けがの原因になることがあります。

- ぐらついた台の上
- 傾いたところ
- 振動や衝撃のかかるところ

また、設置・取り付け場所の強度を充分にお確かめください。

接続ケーブルを傷つけない

接続ケーブルを傷つけると、火災や感電の原因となります。



接続ケーブルを窓やドアにはさみ込まない

警告 接続コードやケーブルが傷つくと、ショートによる火災や感電の原因となります。

指示

注意 下記の注意事項を守らないと、けがをしたり周辺の物品に損害を与えたことがあります。

分解や改造をしない

警告 分解や改造をすると、火災や感電、けがの原因となることがあります。

内部の点検や修理は、お買い上げ店またはソニー業務用商品相談窓口にご依頼ください。

直射日光に当たる場所、熱器具の近くには置かない

警告 変形したり、故障したりするだけでなく、レンズの特性により火災の原因となることがあります。特に、窓際に置くときはなどはご注意ください。

ぬれた手で接続ケーブルをさわらない

警告 ぬれた手で接続ケーブルを抜き差しすると、感電の原因となることがあります。

ぬれ手禁止

内部に水や異物を入れない

警告 水や異物が入ると、火災の原因となります。

万一、水や異物が入ったときは、すぐに本機が接続されている電源供給機器の電源コードや本機の接続ケーブルを抜いて、お買い上げ店またはソニー業務用商品相談窓口にご相談ください。

指定した給電装置を使用する

警告 電源供給は、IEEE802.3afに準拠した装置を使用してください。指定の装置を使用しないと、火災や感電、けがなどの原因となることがあります。

移動の際は接続ケーブルを抜く

警告 接続したまま移動させると接続ケーブルが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。

指示

SNC-DH110/DH110T（シールドケーブルを使用するこ

と）
この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。VCCI-B

SNC-DH210/DH210T

この装置は、クラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。VCCI-A

保証書とアフターサービス

保証書

この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際にお受け取りください。

所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。

アフターサービス

お買い上げ店、またはお近くのソニー業務用商品相談窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

使用上の注意

ご使用の前に

• 結露がある場合には十分な時間をおいて、結露が消えてから電源を入れてください。

• 設置等の作業の前に、静電除去を行ってください。

データ・セキュリティについて

• ネットワークカメラを使用することにより、インターネットを通じて容易にカメラ映像にアクセスすることができます。一方で第三者によりネットワークを通じてモニタリング画像および音声を閲覧、使用等される可能性があります。ネットワークカメラの設置およびご利用については、被写体のプライバシー、肖像権などを考慮のうえ、お客様の責任で行ってください。

• 本製品へのアクセス権限は、ユーザー名およびパスワードを設定することにより行われます。それ以上のカメラによる認証作業は行われません。

• 諸事情による本ネットワークカメラに関連するサービスの停止、中断については、ソニーは一切の責任を負いません。

• 必ず事前に記録テストを行い、正常に記録されていることを確認してください。本機や記録メディア、外部のストレージなどを使用中、万一これらの不具合により記録されなかった場合の記録内容の補償については、ご容赦ください。

• お使いになる前に、必ず動作確認を行ってください。故障その他に伴う営業上の機会損失等は保証期間中および保証期間経過後にかかるわざ、補償はいたしかねますのでご了承ください。

• 本製品の使用によりデータが消失した場合でも、データの保証は一切いたしかねます。

接続ケーブルを傷つけない

接続ケーブルを傷つけると、火災や感電の原因となります。

個人情報について

• 本機を使用したシステムで撮影された個人を識別できる情報は、「個人情報の保護に関する法律」で定められた「個人情報」に該当します。法律に従って、映像情報を適正にお取り扱いください。

• 本製品を使用して記録された情報内容は、「個人情報」に該当する場合があります。本製品、または記録媒体が廃棄、譲渡、修理などで第三者に渡る場合には、その取り扱いを充分に注意してください。

使用・保管場所について

非常に明るい被写体（照明や太陽など）を長時間にわたって撮影しないでください。また、次のような場所での使用および保管は避けください。故障の原因となります。

• 極端に暑いところや寒いところ（使用温度は0°C～50°C）

• 直射日光が長時間あたる場所や暖房器具の近く

• 強い磁気を発するものの近く

• 強力な電波を発するテレビやラジオの送信所の近く

• 強い振動や衝撃のあるところ

• 湿気、ほこりの多いところ

• 雨のあたるところ

• 融光灯や窓の反射の影響を受けるところ

• 不安定な照明の下（フリッカー）を起こします。

放熱について

動作中は布などで包まないでください。内部の温度が上がり、故障や事故の原因になります。

電源について

• 本機の電源は、ネットワークケーブルを通じて供給されます。

• ネットワークケーブルは、UTP、カテゴリ5をご使用ください。

• ネットワークケーブルを傷つけると、火災や感電の原因となることがあります。

輸送について

• 持ち運ぶときは、必ず電源を切ってから運んでください。

• 輸送するときは、付属のカートンとクッション、または同等品で梱包し、強い衝撃を与えないようにしてください。

お手入れについて

• レンズの表面に付着したごみやほこりは、プロアーで払ってください。

• 外装の汚れは、乾いたやわらかい布で軽く拭き取ってください。汚れがひどいときは、中性洗剤溶液を少し含ませた布で汚れを拭き取ったあと、からぶきしてください。

• アルコール、ベンジン、シンナー、殺虫剤など揮発性のものをかけると、表面の仕上げをいためたり、表示が消えたりすることがあります。

異常や不具合が起きたときは、お買い上げ店またはソニー業務用商品相談窓口にお問い合わせください。

レーザービームについてのご注意

レーザービームは撮像素子に損害を与えることがあります。

レーザービームを使用した撮影環境では、撮像素子表面にレーザービームが照射されないよう十分注意してください。

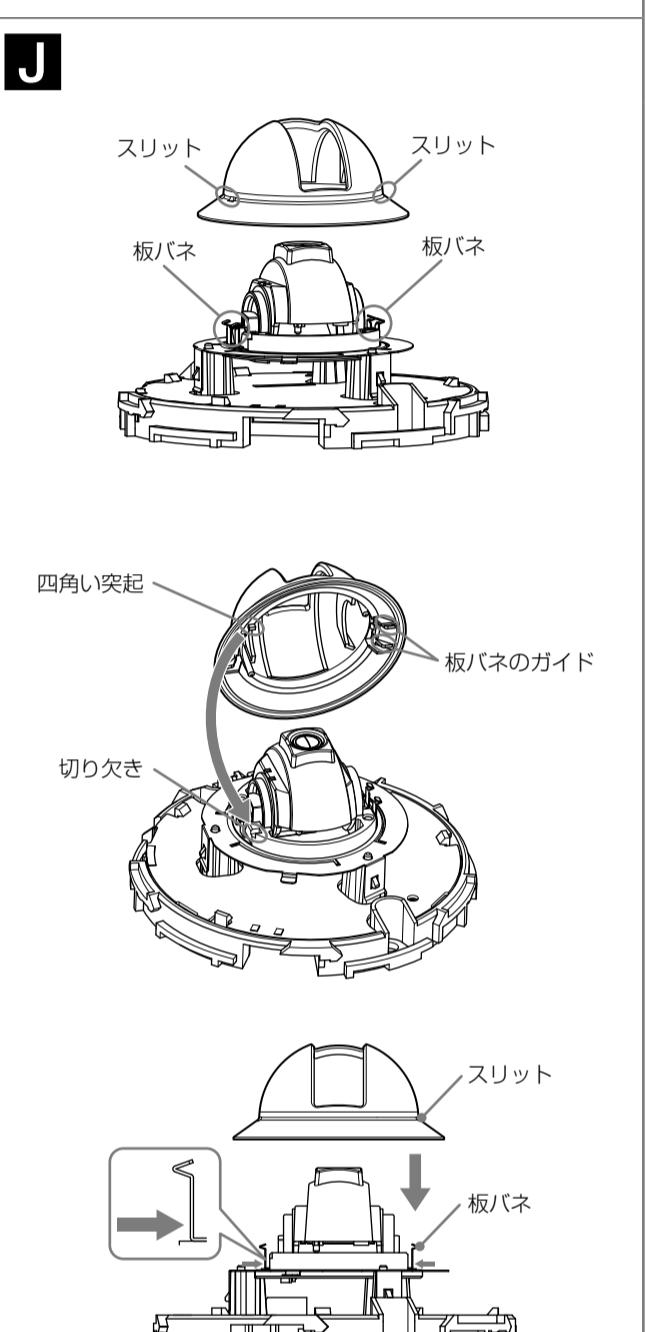
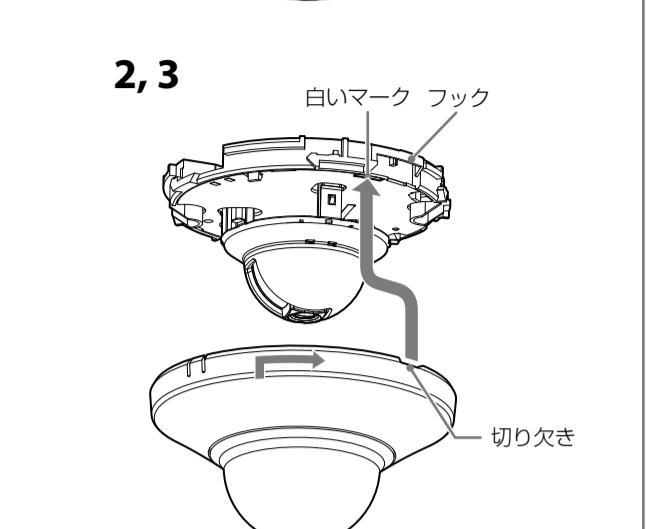
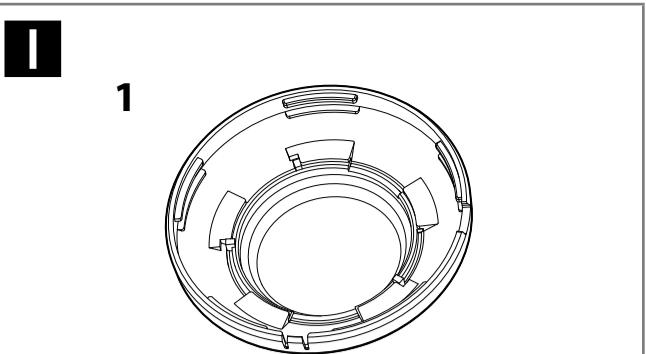
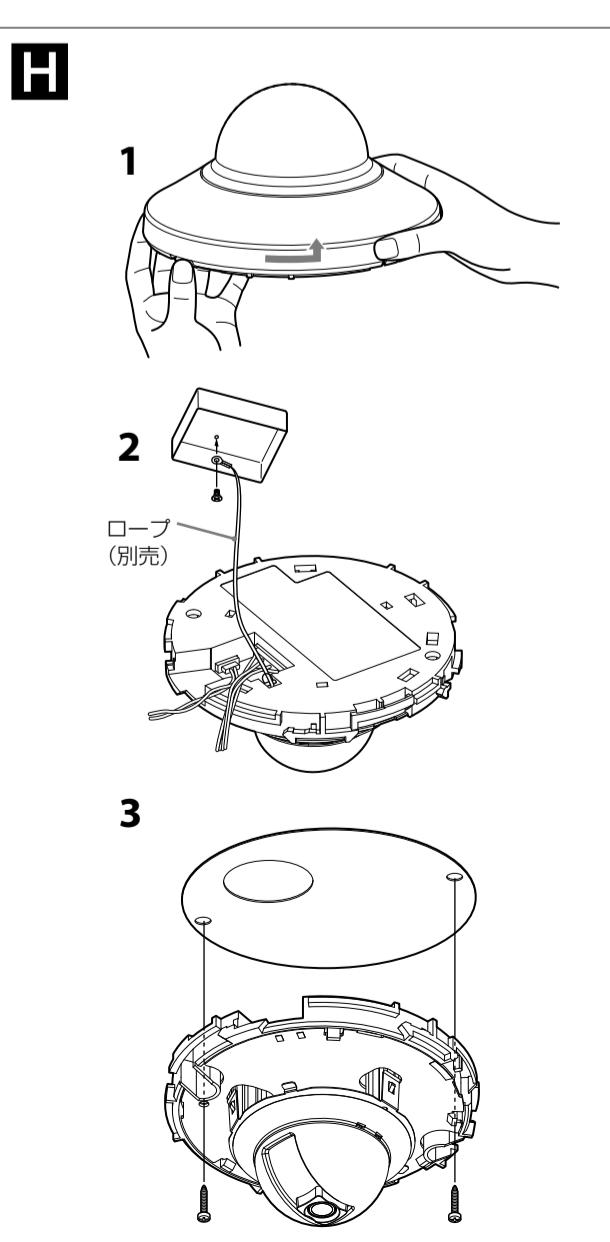
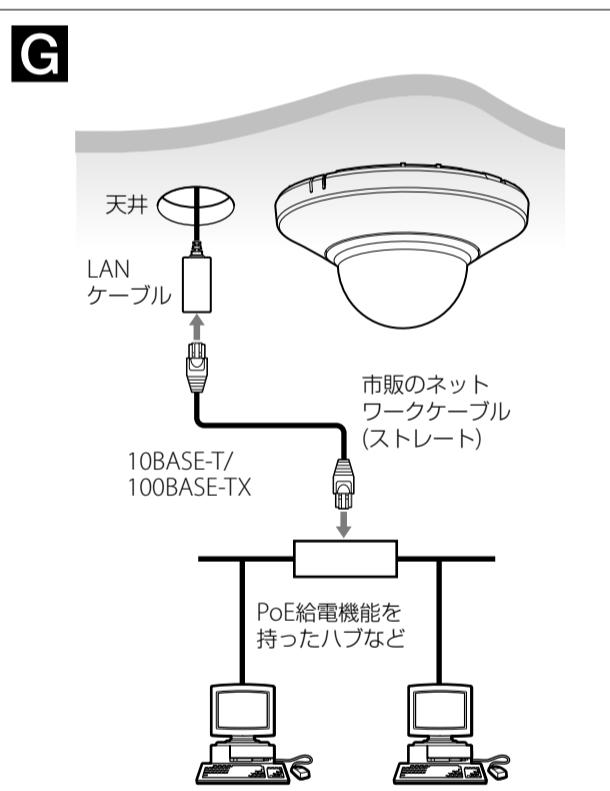
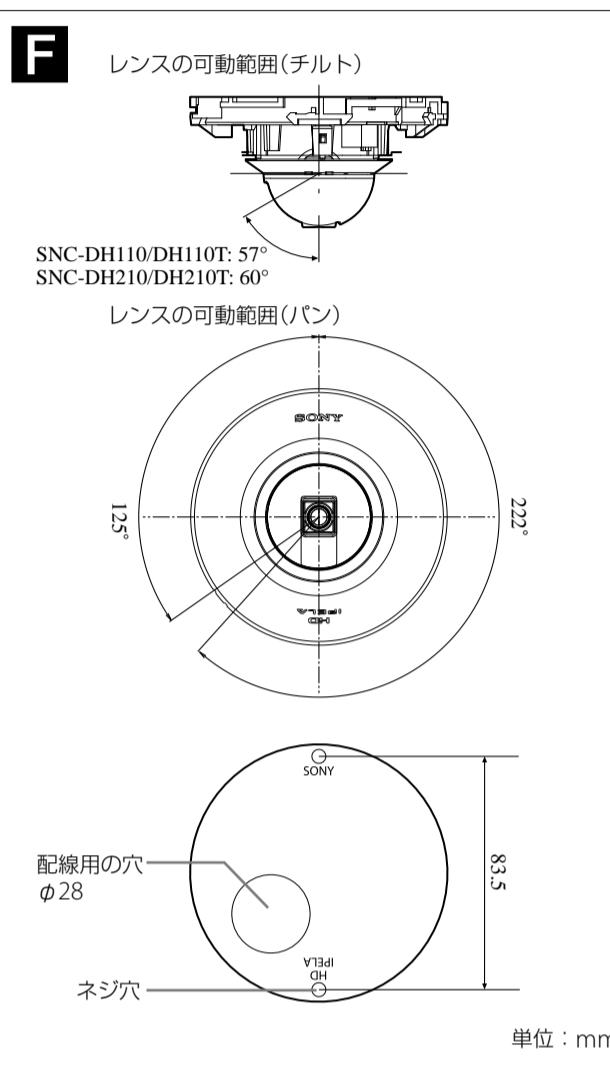
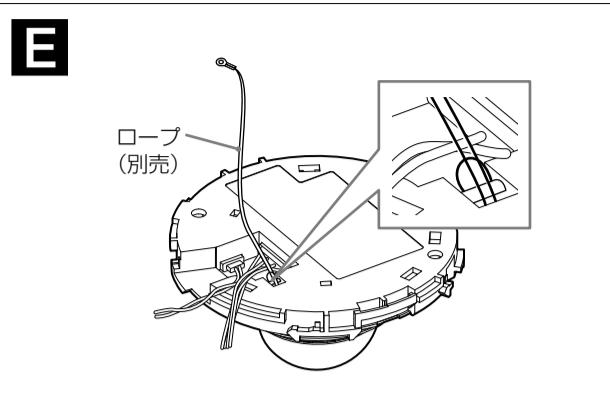
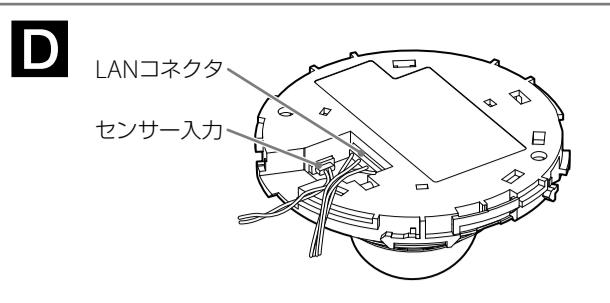
撮像素子特有の現象

撮影画面に出る下記の現象は、撮像素子特有の現象で、故障ではありません。

白点

撮像素子は非常に精密な技術で作られていますが、宇宙線などの影響により、まれに画面上に微小な白点が発生する場合があります。これは撮像素子の原理に起因するもので故障ではありません。

また、下記の場合、白点が見えやすくなります。



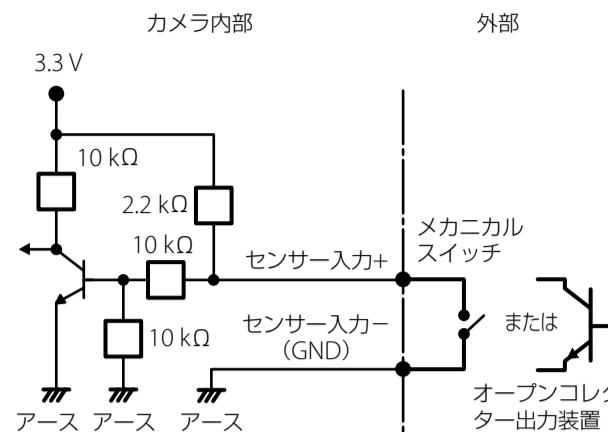
準備

カメラにセンサー入力ケーブルを接続する **D**

設置の前に、ご使用環境に合わせ、付属のセンサー入力ケーブルをカメラに接続しておきます。

センサー入力への配線図

メカニカルスイッチ/オープンコレクター出力装置



落下防止用ロープの取り付け **E**

天井や高い場所にカメラを設置する場合は、落下事故防止のため、必ず別売の落下防止用ロープを取り付けてください。

ロープは、図のようにカメラ本体の通し穴に通してから、天井や壁のジャンクションボックスなどにネジ(付属していません)で固定してください。

落下防止ロープについて詳しくは、ソニーの販売店または販売代理店へお問い合わせください。

設置

△警告

- 壁や天井など高所へ設置する際は、専門の工事業者に依頼してください。
- 天井への設置は、本体の重量に充分耐えられる強度があることをお確かめの上、確実に取り付けてください。充分な強度がないと落下して大けがの原因となります。
- 落下事故防止のため、別売の落下防止用ロープを必ず取り付けてください。
- 天井へ設置した場合は、1年に一度は取り付けがゆるんでいないことを点検してください。また、使用状況に応じて点検の間隔を短くしてください。

カメラの取り付け位置を決める **F**

カメラの撮影方向を決めてから、付属のテンプレートを使って、配線用の穴とカメラ取り付け用のネジの位置を決めます。

ケーブルをカメラの横から引き出す場合は、配線用の穴は不要です。

ネットワークへの接続 **G**

市販のネットワークケーブル(ストレートケーブル)を使って、本機のLANコネクタとPoE(*)給電機能を持った装置(ハブなど)を接続します。

電源は、ネットワークケーブルを通して供給されます。詳しくは、PoE対応ハブなどの取扱説明書をご覧ください。

(*PoE : Power over Ethernetの略。IEEE802.3afに準拠の機器。)

カメラを取り付ける **H**

- ドームケースをはずす。**
カメラ本体のフックを押しこみながら、ドームケース矢印の方向(反時計回り)に回して、ドームケースをはずす。

2 落下防止用のロープ(別売)を天井または壁に取り付ける。

- 3 カメラを取り付ける。**
カメラ本体の2か所のネジ穴を、付属のテンプレートで決めた天井や壁のネジの位置に合わせて、ネジ(付属していません)で締め付ける。

取り付けネジについて

設置する場所や材質により、使用するネジ類が異なります。(ネジは付属していません。)

鋼材の場合: M4ネジとナットで固定してください。

木材の場合: タッピングネジ(呼び径4)で固定してください。板厚は15 mm以上必要です。

コンクリート壁の場合: ドライビット、またはプラグボルトで固定してください。

ジャンクションボックスの場合: ジャンクションボックスのネジ穴に合ったネジで固定してください。

△警告

設置する場所や材質により、適切な取り付けネジを使用してください。適切な取り付けネジを使用しないと落下して大けがの原因になります。

ご注意

取り付けるときは、カメラと天井や壁の間にケーブルがはさみ込まれないようにご注意ください。ケーブルがはさみ込まれると、断線による火災や感電の原因となります。

撮影方向と撮影範囲の調整 **K**

パン方向はPTケースを、チルト方向はレンズケースを手で動かして、撮影したい方向にレンズを向ける。

PTケースを回すときは、PTケースを押しながら回してください。PTケースは引っぱると外れます。

</div